

本屋さんがおすすめの本を選んで大賞を決める「本屋大賞」が、4月20日に決定しました。おすすめできる小説が沢山ランキングに入っているため、本選びの参考にして下さい。

4月 (卯月・卯花月・鳥待月) April

〇メッセージ

新しい年度が始まりました。今年の4月は、寒い日や雨の日が多かったのですが、4月後半には暖かい日もあり、春らしさを実感することができました。4月はスタートの月です。この1年間で自分が何をすべきか目標を考えて、良いスタートを切ってください。本年度も引き続き図書館をよろしくお願いいたします。

〇連絡

今の特集は「桜サク」

図書館に桜の本を集めました。

時間があるときに、図書館を覗いて下さい。

〇4月の花言葉と誕生石

◇4月の花言葉◇

モクレン: 自然への愛
スイートピー: 優しい思い出・門出

◇4月の誕生石◇

ダイヤモンド: 清浄無垢

<第7回 本屋大賞 順位決定>

- 1位 天地明察／沖方丁 (角川書店)
- 2位 神様のカルテ／夏川草介 (小学館)
- 3位 横道世之介／吉田修一 (毎日新聞社)
- 4位 神去なあなあ日常／三浦しをん (徳間書店)
- 5位 猫を抱いて象と泳ぐ／小川洋子 (文藝春秋)
- 6位 ヘヴン／川上未映子 (講談社)
- 7位 船に乗れ！／藤谷治 (ジャイブ)
- 8位 植物図鑑／有川浩 (角川書店)
- 9位 新参者／東野圭吾 (講談社)
- 10位 1Q84／村上春樹 (新潮社)

<過去の大賞受賞作品>

- 第1回大賞 博士の愛した数式／小川 洋子(新潮社)
- 第2回大賞 夜のピクニック／恩田 陸(新潮社)
- 第3回大賞 東京タワー／リリー・フランキー(扶桑社)
- 第4回大賞 一瞬の風になれ／佐藤 多佳子(講談社)
- 第5回大賞 ゴールデンスランバー／伊坂幸太郎(新潮社)
- 第6回大賞 告白／湊かなえ(双葉社)

天地明察／沖方丁 (角川書店)

江戸時代初期に、長年使われたためにずれが生じていた「宣明暦」から新しい暦への変更を推し進めたのが、本作の主人公である渋川春海(安井算哲)。御城の囲碁打ち集として幕府に仕えていた春海は、算術の才能を見出され北極点の観測隊への随行を経て、優秀な仲間や理解者とともに暦の変更を目指すことにしたのだが、その作業は困難でかつ極め長い月日を必要として…魅力的な登場人物とのやりとりと、懸命に「天地明察」を目標にして挑戦する春海の姿勢が魅力的な作品です。

2～10位の作品について

2位には長野の地方病院で働く医者と患者や同僚などとのやり取りを綴った『神様のカルテ』が、3位には田舎から大学進学を東京へ上京した青年の1年間の話である『横道世之介』が入りました。4位の『神去なあなあ日常』は、高校を卒業した青年が林業の現場で働くことになり様々な体験をするという話です。小説の舞台は三重県です。9位の『新参者』や10位の『1Q84』はすでに話題になった本なので、投票数が集まらなかったのかもしれませんが、『1Q84』の3巻は、4月の中旬に発売しました。

過去の大賞受賞作品について

全校生徒が80キロの道のりを歩き続ける、「夜歩祭」を舞台にした『夜のピクニック』や、高校陸上部の短距離選手の3年間の成長を追った『一瞬の風になれ』は高校生が主人公なので、生徒の皆さんにとって読みやすい本といえそうです。

過去の大賞は、ドラマ化された『一瞬の風になれ』と6月に映画化が予定されている『告白』以外は、すでに映画化されています。便りの裏面では、図書館利用案内の紹介と映像化作品の紹介をすることにしました。本選びの際の参考になれば嬉しいです。